

～5月31日に春期研修会（イブニングセミナー）を開催しました～

研修会報告 函館支部副支部長 清水 玲子

令和6年5月31日（金）函館短期大学付設調理製菓専門学校にて春期研修会（イブニングセミナー）を開催しました。

講演に先立ち、賛助会員の株式会社アキヤマ様からご紹介いただいた、アルファー食品株式会社様より会員から希望のあった「非常食について」情報と試食の提供をいただきました。また、大塚製薬工場株式会社様の新製品の紹介がありました。大塚製薬工場株式会社様には、準備段階から色々ご協力いただきました。

講演では、北美原クリニック・五稜郭病院岡田晋吾医師より、「これからの時代、地域のために栄養士・管理栄養士に望むこと」と題し、地域で信頼されるホームドクターを目指して開院された北美原クリニックの20年間の歩みと、管理栄養士・栄養士へ望むことについて、お話しくださいました。その中で岡田先生は、「医療・介護、そして在宅の連携に、管理栄養士・栄養士が積極的に関わって欲しい」、「まずは、退院前カンファレンスに管理栄養士・栄養士が必ず入って欲しい」、「栄養管理・栄養改善は患者さんにとって、楽しみや生きがいを実現するために必要であり、管理栄養士・栄養士の業務は、患者さんの夢のための仕事なんだ」とおっしゃっていました。

管理栄養士・栄養士として、病院・施設内での栄養管理業務はもちろんのこと患者さんを中心においた切れ目のない栄養管理の重要性と、そこに活路が有り、求められていることを再認識出来た有意義な研修会でした。



研修会報告 公衆衛生協議会 高橋 朱音

初めて研修会に参加させていただき、知識を深める有意義な時間となり、大変感謝しております。

「これからの時代、地域のために栄養士・管理栄養士に望むこと」では、栄養士同士の連携・情報共有の大切さに気付かされ、栄養士会はそういった情報交換ができる貴重な場になっていると感じました。

ICT やサマリーは、患者への理解を深め、カンファレンスの時間短縮や患者に寄り添った医療の提供に繋がる非常に合理的なシステムだと思います。このような高度なシステムがあることを知ることができてとても良かったです。前々から、栄養士は他の医療従事者に比べ、活躍の場や人数が少ないなと感じていました。前職で主治医意見書の作成に携わったことがありましたが、「訪問栄養食事指導」の欄にチェックがついたことはありませんでした。

栄養士の必要性和役割を再確認し、自分から積極的に活躍の場を作るために行動を起こすことは、今の栄養士が未来の栄養士のためにできることでもある。この気持ちを大切にして、管理栄養士として日々精進していきたいと思っております。

函館支部役員 医療協議会 佐藤 晋平

「非常食について」

賛助会員の株式会社アキヤマ様から非常食についてのご案内がありました。自然災害により停電・断水が発生し、いつも通り調理ができない。なんてことが実際に北海道でも起こりました。

自然災害は予定されているものではありません。「いつ」起こるのかわからない為、「いま」十分な備えが不可欠です。

今回は商品の味見もさせていただき、非常食は保存期間の延長だけではなく美味しさや食べやすさなど日々進化しているなと感じました。ありがたいものです。非常食入れ替え時は相談させて下さい。株式会社アキヤマ様ありがとうございました。

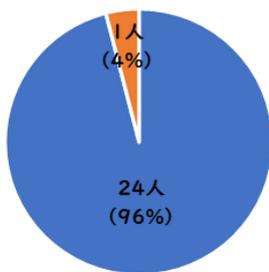


～春期研修会（イブニングセミナー）のアンケートより～

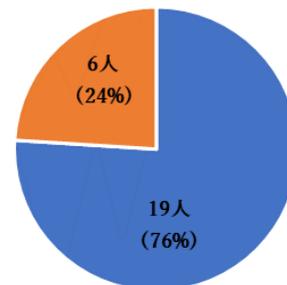
研修会実施後のアンケートについて、たくさんのご意見・ご感想をありがとうございました。研修会にご参加いただいた25名の満足度は「とてもよい」76%、「よい」24%と非常に高い結果となりました。

講演「これからの時代、地域のために栄養士・管理栄養士に望むこと」はご満足いただけただけでしょうか。

研修会の内容について全体の満足度はいかがでしたでしょうか。



■とてもよい ■よい



■とてもよい ■よい

今後、研修会で取り上げてほしいテーマとして挙げられた「介護」「CKD」「胃ろうの栄養管理・栄養剤の選び方」等について検討し、研修会内容の充実を図ってまいります。

（アンケート分析・考察：函館支部役員 研究教育協議会 清水陽子）

★★★令和6年度 研修会 今後の予定★★★

*秋期研修会：10月26日（土）食育セミナー

*職域紹介：11月7日（木）函館短期大学食物栄養学科2年生対象